

図表 1 日本の地方公共団体等が掲げるシリコンバレー構想の例

地域等	構想名	目標、コンセプト、具体的施策等
多摩(首都圏西部)地域	多摩シリコンバレー構想	多摩地域の強みを活かした産業振興。ものづくり大国日本の基幹産業である「自動車」「電気・電子」「精密機械」関連産業の集積促進と、イノベーションを創出する世界有数のものづくり地域の形成を目標に、産学官によるネットワーク強化、「環境ものづくり」の推進、海外展開・販路開拓支援事業等に取り組む。
沖縄県	沖縄マルチメディア特区構想	アジア・太平洋地域における情報通信ハブとして高度情報産業の誘致を図る。1)情報通信基盤の整備、2)人材の育成・研究開発の推進、3)先進的なアプリケーションの展開、4)情報通信産業の集積、5)情報発信機能の強化を促進するための施策として、光ファイバー網など高度な情報インフラを重点的に整備し、教育・研究機関、マルチメディア企業群、先進的アプリケーション開発の一大拠点化。
福岡県飯塚市	e-ZUKAトライバレー構想	飯塚アジアIT特区。 「(近畿大学産業理工学部や九州工業大学情報工学部らの)『大学力』を活かした、地域経済の活性化を目指して ー日本一創業と成長がしやすいまち ー全国から注目され、情報・人材・ビジネスチャンスが集まる刺激的なまちを形成する」ことを目指す姿とし、「産学官連携」「ベンチャー支援」「人材育成」「企業誘致・案件創出」という4つの観点から新産業創出を目指す。
京都府南部	京都ITバザール構想	世界的なIT関連のハイテク産業や高度な“ものづくり”技術を有する中小企業・伝統産業の共存、多数の大学や大きく発展してきた関西文化学術研究都市の存在、歴史・文化、京都ブランドを始めとした、世界に発信する豊富な情報(コンテンツ)、といった条件を活かして、1)ケータイ国際フォーラムの開催、2)インキュベーションルームの開設等ベンチャー企業の育成に向けた取組み、3)IT関連等成長産業の本社・研究所・工場の誘致、4)産学公連携による中小企業のIT化支援、学研都市を活用した新産業興しの取組み、といった事業を推進。

出所:関連府省・地方公共団体のWeb公表資料を基に筆者作成